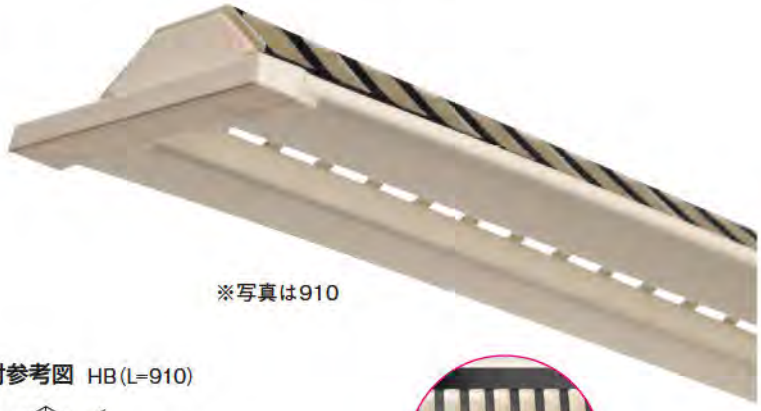
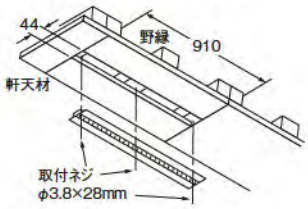
297 軒天換気金物HB



※写真は910

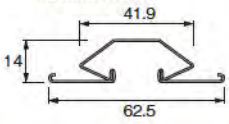
■取付参考図 HB(L=910)

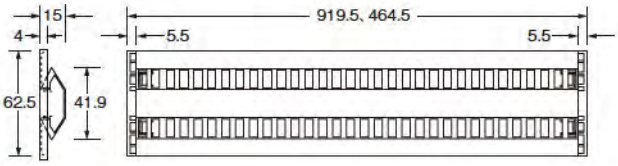


裏面

■寸法図

(製品断面図)





用途・特長

①軒天材12mm対応の軒天換気金物です。
②換気口が見えにくいスッキリとしたデザインで優れた換気量を実現します。
③製品固定は野縁にネジどめするだけの簡単施工です。

注意事項

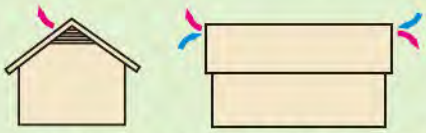
●本体にはねじ孔が開いておりませんので、ネジで軒天換気金物を貫通させて野縁に取り付けてください。
●当商品は、塩害地等の使用環境により錆が発生する場合がございます。設置環境については別途お問合せの上、十分にご考慮いただきご使用ください。
●当商品は特殊発泡材がない非防火仕様となっておりますのでご注意ください。

種類	サイズ(mm)	カラー	商品コード	梱包(1ケース)	付属金物	製品開口面積(cm²/本)	重量(kg/ケース)
L=455	15×62.5×464.5	ホワイト	DA4HIW	10本	タッピン皿ネジ(φ3.8×28mm) 3本×10袋	73	1.0
L=910	15×62.5×919.5		DA9HIW		タッピン皿ネジ(φ3.8×28mm) 4本×10袋	148	1.7
材質	アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付塗装板			表面処理	カラーアルミ		

換気について

木造住宅の防火性能を向上させるため、法令で義務づけされていない地域においても、準耐火構造を採用する木造住宅が増加しており、これに伴い軒天材との組み合わせや施工方法、認定取得方法について法的な審査が厳格化されています。
住宅の品質確保の促進等に関する法律や住宅金融支援機構の木造住宅工事仕様書(フラット35)には、小屋裏換気について図のような基準があります。
防火認定を満たす必要な法的条件をクリアするためには、使用する軒天換気金物の種類や配置、防火認定の有無・取得方法、必要な換気量と必要な部材の数量の算定など多くの要件が求められています。

A



1/300以上
(吸排気両用)

両妻壁にそれぞれ換気孔(吸排気両用)を設ける場合は、換気孔をできるだけ上部に設けることとし、換気孔の面積の合計は、天井面積の1/300以上とする。

B

1/250以上
(吸排気両用)

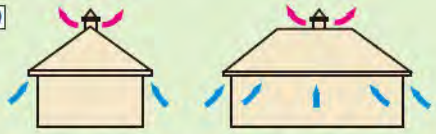
軒裏に換気孔(吸排気両用)を設ける場合は、換気孔の面積の合計を天井面積の1/250以上とする。

C

吸気孔 1/900以上　排気孔 1/900以上

軒裏又は小屋裏の壁のうち屋外に面するものに吸気孔を、妻壁に排気孔を、垂直距離で900mm以上離して設ける場合は、それぞれの換気孔の面積を天井面積の1/900以上とする。

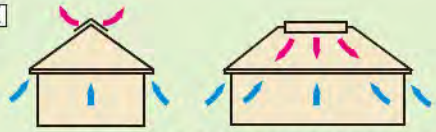
D



吸気孔 1/900以上　排気孔 1/1,600以上

排気筒その他の器具を用いた排気孔は、できるだけ小屋裏頂部に設けることとし、排気孔の面積は、天井面積の1/1,600以上とする。また、軒裏又は小屋裏の壁のうち屋外に面するものに設ける吸気孔の面積は、天井面積の1/900以上とする。

E



吸気孔 1/900以上　排気孔 1/1,600以上

軒裏又は小屋裏の壁のうち屋外に面するものに吸気孔を設け、かつ、棟部に排気孔を設ける場合は、吸気孔の面積を天井面積の1/900以上とし、換気孔の面積を天井面積の1/1,600以上とする。